

天然資源開発機構ニュース

第4号

“自然療法アドバイザー” “養成講座” の開設

シドニー大学薬学部名誉教授

NPO法人天然資源開発機構 理事長

医学博士 山原 條 二

早いもので本法人も設立一年を迎えようとしています。皆様のご協力でそれなりの成果も又世にPRもできたと考えております。

4月に実施しました和歌山県美里町の薬草の会との交流で地元の方々からの色々の意見を聞き、又当法人活動に大変期待されていることも心強く感じております。

さて、世界一の長寿国の中味が問われるときにきています。西洋医学や漢方医学などの研究も進めてきましたが誰にでもわかる“間違った食習慣や生活の改善”がすべての病気の予防、治療に“薬”より大切である事をここ1～2年痛感する様になり“自然療法”の解説と実践をプログラムしてみました。砂糖の害をだれにでも理解しやすく説明できる人、加工食品の不都合なてん、さらに色々の病気、例えば“ニキビ、Acne”はどうして発症するのか、だからこの点を改め実行する具体例にまで踏み込める勉強会の開催を計画しています。

自分の健康のため、人の健康のための講座です、是非ご参加ください。今までに無い内容に仕上げたいと目下テキスト作成に英知を絞って奮闘中です。

★ 受講希望者は事務局に申し込んで下さい。(6月21日(土)より開講します、別紙資料参照)

転ばぬ先の杖

代替療法トータルケアアドバイザー

(有)アタシオン・くさかり 会員 草刈 美由紀

古来より日本には医食同源に則った素晴らしい食文化がありました。がしかし、戦後の欧米文化の影響で体格はよくなったものの体質や免疫力は低下し、生活習慣病にも悩まされている人が大変多くなりました。

私自身も30歳前半にいろいろと病気に苦しみ、対処法に悩んだ末に東洋医学や自然療法に接し健康な身体を取り戻すことができたのです。

東洋医学は根本療法を、西洋医学は対症療法をと病気に対しての見解に根本的な違いがあります。

「予防に勝る治療なし」といわれますが一人でもこのことの重要性に気づいていただき次世代に引き継いでいってほしいと願っています。

当サロンでは自分自身の過去の経験とアドバイザーとして患者さん達から得た20年の経験を生かし東洋医学、民間療法、気功、波動ヒーリングなどでそのケアのノウハウを講座方式と個人アドバイス形式の両面からサポートをさせていただいております。それには山

原博士の天然物を原料とした機能性食品は不可欠で病気の予防、回復、免疫力の向上に大きな役割を果たしています。

自然治癒力を回復することができた人たちや今なお現在進行形の方々の経験をご披露したいと思います。

会員報告

会員 杉山眞美

3月18日、キャンパスプラザ京都にて「身近な薬草を暮らしの中に生かそう」(標ヒロ先生)の講演を聴いて、先生がご自身のリウマチを克服された実体験による、内なる「気」を強く受けました。いよいよ春、新芽がでる前の講演は有意義でした。道端に少し生えている野草さえ貴重に思えました。特に「ヨモギ、スギナ、ドクダミ」について野草茶の作り方・飲み方、薬酒に作り方等について詳細に教えていただきました。

野草の利用法として野草料理(天ぷら、おひたし等)、野草茶、野草煎じエキス、野草の黒焼き、野草の粉末、野草酒、野草ローション、野草化粧水、野草枕、野草アロマテラピー等々。

採取方法として、単に採集するのではなく採集時間は霊気の満ちている夜明けから午前10時までとする、また満月に採集して月が欠けていくときに干すとカビにくい等、自然現象を重視しておられるところに奥深さを感じました。4月になり、庭を見るとカタクリの花が一輪かれんに咲いていました。クコ、アケビ、カキドオシ、ハコベ、ヨモギ等を天ぷらにして、栄養豊かな一品ができました。今年はドクダミやスギナの化粧水に挑戦しようと、今から楽しみにしています。

NPO法人天然資源開発機構に参加して教えていただいたことを、毎日の生活の中で実践できるようになりたいと思います。食用廃油から石けんも家づくり台所で布巾洗いに使っています。



講演中の標ヒロ先生

別のことですがイラク戦争のニュースをみていると中東は雑草さえ生えていないように見えます。豊かな緑があれば人の心も穏やかに戦争も少なく平和になるでしょう。荒れた砂漠のような土地を緑の大地にする方法があればいいのと思うこの頃です。

※ コメント 日本のように活用で出来る緑の多い国は世界にありません。イラク戦争の費用で緑化する方が有効とおもいます。

野外活動報告 美里町薬草の会との交流会に参加して

会員 嶋田義彦

4月5日(土)JR京都駅9時45分発特急くろしお号に乗り、京都を5人で出発、途中大阪駅より3人乗り、海南駅に11時33分到着。海南駅で待っていた人と合流、現地の世話役の東氏の案内で迎えるマイクロバスに乗り美里温泉「かじか荘」へ直行。自家用車で「かじか荘」へ直行した人2人を含め総勢12人の旅となった。

「かじか荘」で昼食に山菜料理をいただく。日頃雑草として抜いて捨てていたカラスノエンドウにツクシの卵とじ等、以外に美味しかったのには驚きだった。

地元薬草の会の方々の歓迎を受け昔懐かしい木の臼と杵で餅つきをさせてもらい(よもぎ入り等3種類)。つきたての餅入りのおぜんざいをご馳走になった。

その後、山原先生の「白い砂糖」、「チョロギ」等の講演があり、その後地元西岡氏の指導による棕櫚の葉を使ったのバツタ作りをした。目の前で丁寧に作りながらの説明であるにもかかわらず以外に難しく完全に出来た人は一人もいなかった。(夜に「かじか荘」で特別指導を受けてマスターした人が数人いた。)この地方は棕櫚の木が多く昔からタワシや箒の製造が盛んだったとの由です。

あいにくの小雨の天気でこの日は残念ながら周辺の見学はしないでお餅と薬草のお土産を頂き「かじか荘」に戻り温泉で温まり7時より夕食。和やかな宴会となる。何時の間にか9時をまわり散会。

翌日、6日(日)は良い天気となり、ニッケイの木を見学。樹下には多数の実生が生えていてこの実生をお土産に頂いた。椎茸栽培を見学。その後生石高原へ植物の名前を山原先生に教えてもらいながらの山歩き。

昼食は生石高原の麓の小屋で西岡氏のお母様と奥様が作ってくださったかやくご飯やワケギのぬた等をご馳走になる。どれも美味しく沢山盛っておいてくださったのを皆が遠慮なく平らげさせてもらった。昼食後、生石高原へ登山。少しきつかったけれど山の上から眺めた景色に心が洗われる気がした。秋にはすすきが生い茂り美しいところだそう。そういえばテレビで見たことがあった。下山して一路帰途に。柿の葉すし、金山寺味噌、西岡氏の作られたはっさく等、沢山のお土産をてにJR海南駅へ。

町おこしのチューリップ園をマイクロバスの中から眺めた。(30万本あるそう)。翌日テレビで放映していた。園に入ってみたかったと思った。

色々お世話くださり駅まで見送って下さった東様、バツタの製作指導や何かとお世話をかけた森下様、西岡様、昼食を作ってくださった西岡様のお母様、奥様又おつきあい下さった地元の方々に深く感謝いたします。有難うございました。

色んな思い出を作り1泊2泊の楽しい旅は終わりました。



昔取った杵柄で餅つき



棕櫚のバツタ作りに悪戦苦闘



生石高原のすすきの中を行く

7月のセミナー案内

身近な野草観察会（4）

テーマ：身近な薬草・野草観察会

日時：7月26日(土)午前10時～16時

場所：京都北山（貴船～二ノ瀬）

集合：京福電鉄貴船口 10時

参加費：1,000円(会員 無料)

定員：30名

お詫びとお知らせ

前号でお知らせ致しました7月に長野県奈川村で行なう予定でした身近な薬草・野草観察会は現地の都合で中止します。

既納の参加費は理由の如何に関らず返却できませんのでご了承ください。

9月・10月の行事予定

9月：9月9日（火） 中止します。

10月：10月19日（日）

身近な薬草観察会（5） 野草観察と草木染（自分で染色用植物を採取して染めてみる）

寄 付

小林信子様、亀齡堂様よりご寄付をいただきました。有難うございます。有意義に使わせていただきます。

漢方相談

漢方薬について、薬草、薬木の苗、薬草栽培地の見学、薬草の商品化、薬事薬効研究、薬草の購入など毎週火曜日に無料相談日を設けています。事務局にてご予約してください。

研修や入会のお申込、その他お問い合わせは下記事務局へお願いします。

編集後記

五月。皐月。メイ。ゴールデンウィークも終わり、野も山も新緑でむせ返るようです。空はあおく、吹く風もさわやかで風薫ると言われ、一年で最も良い季節ではないでしょうか。山や森にはフィトンチッドとかいうものがあって大変体にいいそうです。一日山歩きをした後の心地よい疲れもこのせいでしょうか。皆さんも薬草・野草を観ながら郊外にお出かけになることをお勧めします。また野草茶・野草酒にチャレンジしてみるのも良いかも知れません。

つかの間の良い季節が過ぎるとうとうとしい梅雨になります。この短い季節を有効に利用したいものです。

発行所：NPO法人天然資源開発機構

発行人：山原條二

編集責任者：伊勢武夫

事務局：〒602-8026

京都市上京区新町通樺木町上ル春帯町 344-2 折坂ビル

電話：075-256-0811 FAX：075-257-3591

E-mail：pharma@gaia.eonet.ne.jp